

『兼滿漢語滿洲套話清文啓蒙』における注音の内部差異(5)

竹越 孝

[承前]

6. -in と-ing の分布

その他、本書では、本来 -in であるべき漢字音が -ing で記されていたり、本来 -ing であるべき漢字音が -in で記されていたりという例が比較的多く認められる。ここでは現代北京音で -in となる韻母と -ing となる韻母を対象として、音形ごとの出現個所を以下に示す。これまでの表と同様、乙類に属する部分には網掛けを施す。なお、既に表2、表13及び表16において示した“謹”、“行”、“今”、“緊”、“尽/盡”、“儘/俛”、“進”、“親”、“心”、“信”、“京”、“敬”、“竟”、“景”、“經/経”、“境”、“情”、“清”、“晴”、“輕/軽”、“青”、“請”、“慶”、“傾”、“性”、“姓”、“幸”については省略する。

表19: -in と-ing の分布(北京音 -in)

声母	漢字	音形(数)	出現個所
p	品	ping (1)	19b3
m	敏	min (1)	21a3
l	林	lin (2)	46b3, 60a3
y	飲	yen (8)	36b5, 57b1, 61a2, 61b2, 68a5, 69b4, 73b2, 73b2
	因	yen (16)	5a1, 7b1, 11a1, 11a2, 12a2, 22b1, 28b1, 33a3, 41b1, 42b3, 45a5, 46b3, 48a3, 56b1, 73a2, 75b3
	音	yen (2)	12b4, 38a5
	阴	yen (2)	42b3, 59a1
	良(銀)	yen (3)	72a3, 77a5, 78a1
	隱	yen (1)	60a3
	殷	ing (1)	38a2

表20: -in と-ing の分布(北京音 -ing)

声母	漢字	音形(数)	出現個所
b	並	bing (9)	4a1, 12b5, 13b1, 16a2, 18b4, 28b1, 33b2, 34b1, 43a4
	并	bing (1)	3a5
	病	bing (1)	11b3
	兵	bing (1)	44b5

	氷	bing (1)	67a1
	秉	bing (1)	76a1
p	平	ping (8)	4b2, 9b2, 11a4, 16b2, 19a4, 22b1, 33b4, 42a4
	憑/憑	ping (4)	15a3, 29b4, 29b5, 70b2
m	明	ming (13)	1a3, 1a4, 3b4, 16b2, 21a1, 35a3, 48b1, 62a4, 62a4, 73a2, 74b1, 74b1, 74b2
	名	ming (6)	1b4, 44a1, 44a1, 48a4, 48b2, 60a2
d	定	ding (26)	1a2, 2b5, 5a4, 8a5, 9b2, 18b4, 23a2, 23b5, 25a4, 27a5, 27b5, 30b2, 31b3, 31b3, 34a3, 35b5, 38b2, 42a1, 48b2, 48b3, 57b4, 62b3, 64b4, 67b3, 74a3, 76b4
		din (1)	3a3
t	听	ting (22)	1b4, 2b3, 4a3, 4b2, 4b5, 4b5, 11b1, 12b4, 17b3, 17b3, 21b5, 22a1, 27a3, 39a3, 40a3, 40b5, 41b3, 47a4, 52b5, 53b3, 79a3, 79a5
l	另	ling (5)	12a5, 20b4, 34b2, 47b4, 49b1
	令	ling (2)	41b2, 43a5
	鈴	ling (1)	29a3
	領	ling (3)	2a3, 44a4, 44b1
		lin (1)	31a3
伶	ling (1)	35a4	
y	應	ing (14)	5b5, 6b5, 14a4, 17a1, 17a1, 17b1, 17b1, 17b2, 20a1, 20a5, 20b3, 29b2, 29b4, 72b3
	影	ing (2)	4b4, 38b3
	硬	ing (1)	45b2

上の二つの表とこれまで見てきた表の中から、-in と -ing に関して、本来期待される韻母とは異なる音形が現れている例を集め、それらが甲類・乙類どちらの字体に属するかを調べてみると以下のようなになる。なお、本来期待される韻母ではない方の音形には*印を付す。

表 21 : -in, -ing と字体の相関

声母	漢字	音形	甲類	乙類	計
p	品	ping*	1	0	1
d	定	ding	12	14	26
		din*	1	0	1

l	領	ling	1	2	3
		lin*	1	0	1
j	謹	gin	2	0	2
		ging*	0	3	3
	竟	jin*	3	8	11
	敬	ging	0	3	3
		jin*	0	1	1
	京	ging	0	1	1
		gin*	0	1	1
	景	gin*	1	0	1
境	jin*	0	1	1	
q	傾	kiyūn*	1	0	1
x	行	hing	13	10	23
		hin*	2	0	2
	幸	hin*	1	0	1
		sin*	1	0	1
y	殷	ing*	1	0	1

上によると、-in が期待されるところに -ing が現れる例、-ing が期待されるところに -in が現れる例は、一定の偏りを持って分布しているとは言えず、これが本書の全体を貫く特徴であることが窺われる。

7. おわりに

以上、本稿では、現存する『兼滿漢語滿洲套話清文啓蒙』の版面に二種類の字体が現れることを確認した後、本書の内部で漢字注音の音形に揺れの見られる次の三つのペアを取り上げ、その分布が字体と関連を有するか否かについて検討を行った：

- 1) -oo と -ao
- 2) 尖音と団音
- 3) -in と -ing

その結果、1) -oo と -ao では -oo の形が乙類の字体の部分に分布する傾向が強いと言えること、他の例では特定の偏りは認められないことが確認された。

本稿では字体の問題を手掛かりとしたが、他にも本書の内部差異を説明し得る有効な視点があるかも知れないので、引き続き検討していくことにしたい。

〔了〕